

# 仙台市確かな学力育成プラン2023(中間案・概要版) ~すべての子どもたちの可能性を広げるために~

## 第1章 本プラン策定について p.1

- 本市では、平成30年3月に「仙台市確かな学力育成プラン2018」(前プラン)を策定し、「すべての子どもたちの可能性を広げるために」の理念のもと、基礎的知識の習得、応用力の育成、学習意欲の向上等、児童生徒の確かな学力の育成に向けて様々な施策を展開してきました。また、社会的・職業的自立を目指した仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」の推進、豊かな学びの環境づくりとして、学校支援地域本部やコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入など、本市が目指す「地域とともに歩む学校」の体制づくりも進めてきました。
- 「仙台市確かな学力育成プラン2023」(本プラン)は、「教育基本法」と「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて策定され、「仙台市基本計画」で示された教育分野の施策を協働して推進する「仙台市教育構想2021」を上位計画とし、学習指導要領の理念に基づいた確かな学力の育成のための施策に関する基本計画として位置付けています。
- 前プランが令和5年3月に計画期間を終えることから、本市の児童生徒を取り巻く状況の変化や成果と課題、学習指導要領の視点などを踏まえながら、今後5年間の子どもたちの学力向上に向けた教育施策等の方向性を示す、本プランを策定します。

## 第2章 学力をめぐる現状と課題 p.3~

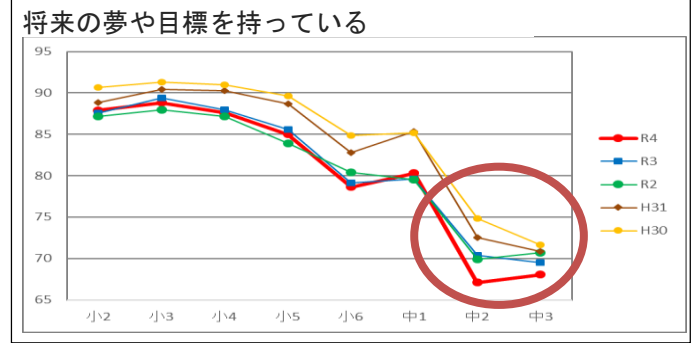
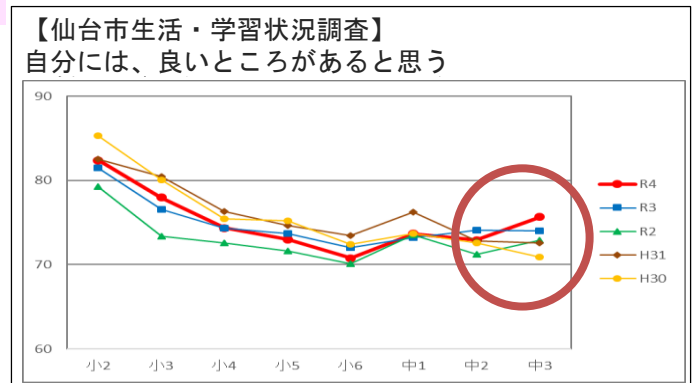
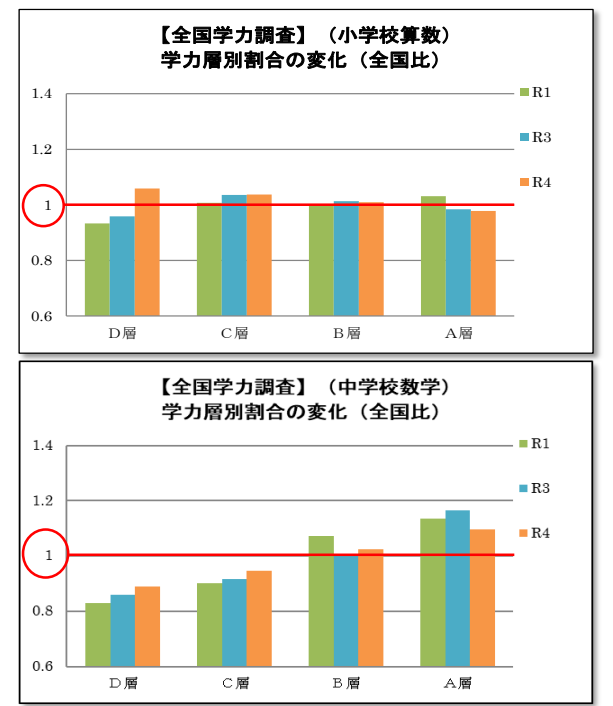
### 教育環境を取り巻く現状 p.3~

- 人口減少と高齢化の進展 □急速な技術革新 □グローバル化の進展
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活・行動様式の変化
- 家庭状況の変化 □複雑化・多様化する学校課題と教師の働き方改革

### 学習指導要領が目指す方向性 p.5~

- 社会に開かれた教育課程 □育成を目指す資質・能力の明確化
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- カリキュラム・マネジメントの推進 □教育内容の主な改善事項

### 本市児童生徒の学力・生活習慣等の現状 p.6~



- 小学校は全国とほぼ同じような傾向、中学校はA・B層が多く、C・D層が少ない状況です。C層やD層の割合をより減少させていくことが求められます。(算数・数学)
- 「自分には、良いところがあると思う」と回答した児童生徒の割合は、70%~80%で推移し、中学校3年生では年々増加傾向にあります。将来に関する質問への肯定的な回答は高学年になるほど減少傾向にあります。子どもたちの内面を満たしていくため、「自分づくり教育」のさらなる充実が求められます。

## 第3章「仙台市確かな学力育成プラン2023」における基本的方向

### 「たくましく生きる力」 p.21~

- 児童生徒の「認知的な能力」だけでなく、いわゆる「非認知的な能力」も育てることや、「社会の仕組み」「生き方」「人との関わり」について体験的に学習する取組は、これまで本市で行ってきた「仙台自分づくり教育」で目指す「たくましく生きる力」を育む取組に当てはまるものです。
- 「仙台自分づくり教育」で目指す「たくましく生きる力」は、児童生徒の「確かな学力」を育成するための大切な要素と考えています。そして、それが自立した「学び」への動機となって「基礎的知識・技能」「活用する力」「主体的な学習態度」に作用し、「確かな学力」の充実につながるものと考えます。

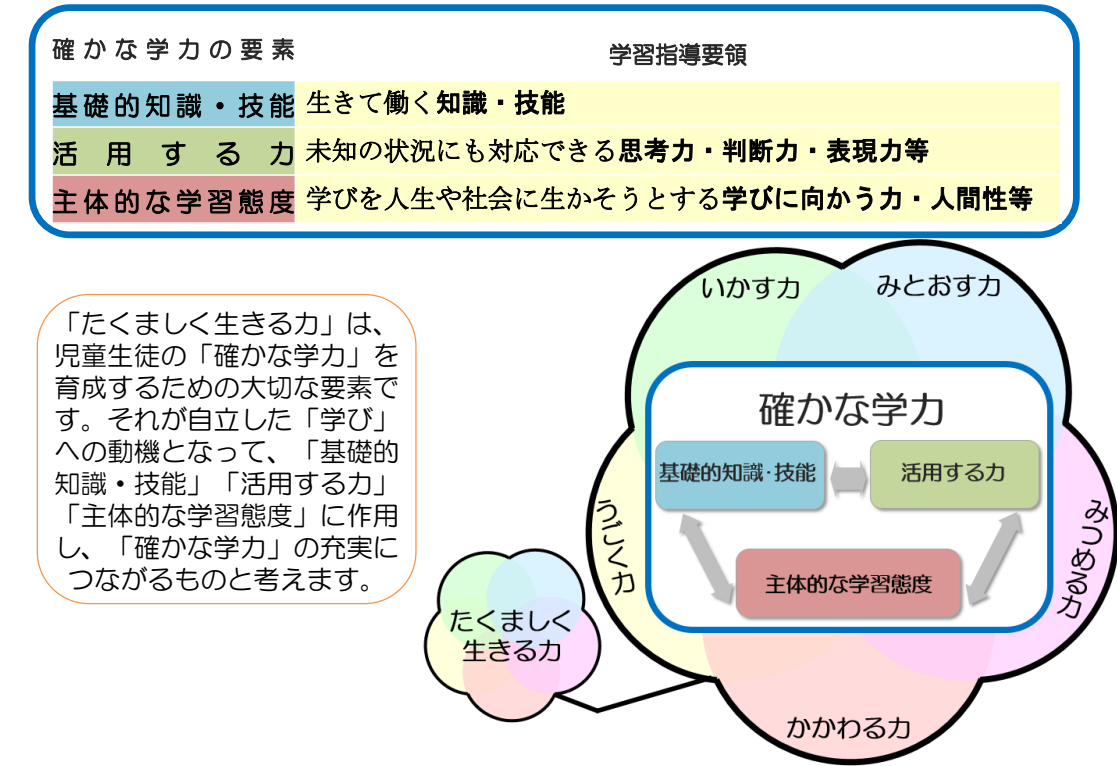
### 本市における「確かな学力」の要素 p.22~

- 「確かな学力」の構成要素、「基礎的知識・技能」「活用する力」「主体的な学習態度」に加え、「たくましく生きる力」が「確かな学力」の育成の基盤となり、また、確かな学力が育成されることで、たくましく生きる力も強化されていくものと位置付けます。
- 学習指導要領で育成を目指す3つの資質能力との関係では、「基礎的知識・技能」を「生きて働く知識・技能」と、「活用する力」を「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」と、「主体的な学習態度」を「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」として位置付けることとします。

### ICTの積極的な活用 p.23~

- 子どもたちの多様な学びの実現と、自らの学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度を育成する上で、ICTの積極的な活用を図り、「確かな学力」の育成を進めていきます。

### 目標達成のための6つの施策領域 → 裏面に掲載しています。



## 第4章 本プランの推進体制 p.49

- 本プランに基づき執行する事業については、毎年度、施策の取組状況をねらいに沿って検証してまいります。その際、各領域の点検・評価の視点や教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を活用し、進めていきます。
- 地域や企業、大学等、多様な主体との連携を強化し、効果的な事業の展開を進めていきます。
- 教育が対応すべき課題等を解決するために、社会情勢やニーズを迅速に把握し、的確な対応に努めていきます。
- 市民の理解と協力を得られるよう、分かりやすく丁寧な情報提供を心掛け、積極的な情報の発信に努めていきます。

確かな学力の育成を実現するためには、保護者や地域の方々、企業等の各種団体、大学など、多様な主体との連携・協働が必要です。本プランの主旨を共有し、連携を強化し、すべての子どもたちの可能性を広げるため、柱となる施策を推進していきます。

## A 仙台自分づくり教育の充実

p.27~p.32

- 「仙台自分づくり教育」では、児童生徒が自ら学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力（たくましく生きる力）を育みます。
- 「仙台自分づくり教育」の活動は、子どもの学習意欲等に大きく関わり学力を支えるものであり、教科で学んだ知識・技能を活用する場としての機会を有しています。

- (1) たくましく生きる力育成プログラム
- (2) 職場体験活動推進事業
- (3) 仙台子ども体験プラザ事業
- (4) 仙台自分づくり夢教室・職業講話
- (5) 楽学プロジェクト
- (6) 仙台版キャリア・パスポート  
「仙台自分づくりノート」
- (7) 仙台自分づくり教育研究会・調査研究



## B 優れた指導手法の習得

p.33~p.36

- 指導手法や教材の開発、学力向上を課題としている学校への個別支援など、教員を支援することを通じて、教員の授業力・ICT活用指導力の向上を行うことで、児童生徒の「基礎的知識・技能」の習得や「活用する力」の育成、「主体的な学習態度」の形成を図ります。
- 教員が教材研究を重ね自信を持って授業に臨むことで、児童生徒が分かる授業が実現します。

- (1) 授業力向上を目指した研修
- (2) 確かな学力研修委員会による結果分析・課題改善の取組
- (3) ICTを活用した教育の推進
- (4) 学力サポートコーディネーター派遣事業
- (5) 教科指導エキスパート派遣事業

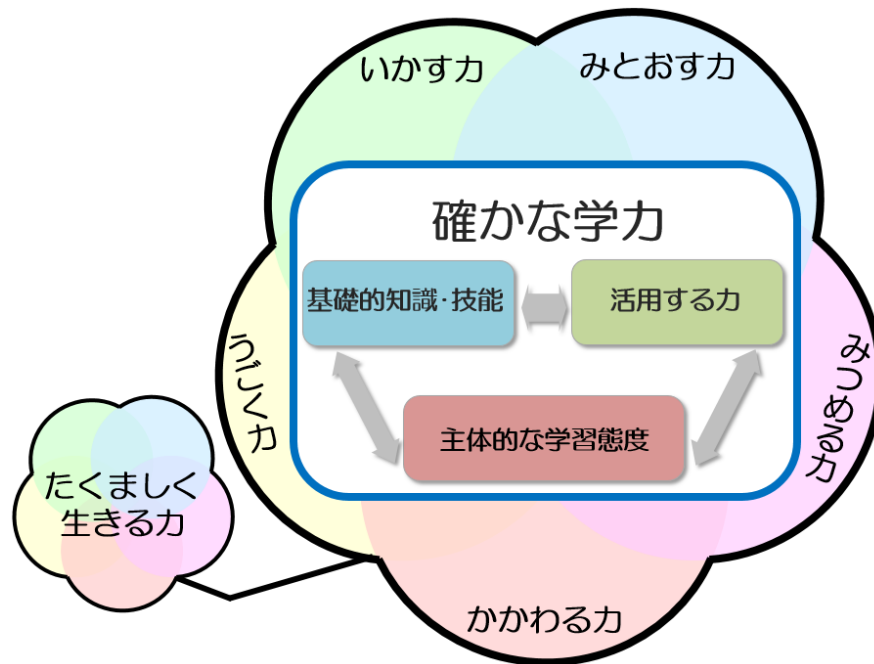


## 仙台市確かな学力育成プラン2023

～すべての子どもたちの可能性を広げるために～

プランの目標

「たくましく生きる力」を育みながら、確かな学力の構成要素である「基礎的知識・技能」の習得、「活用する力」の育成、「主体的な学習態度」の形成を目指します。



## C きめ細かな指導の充実

p.37~p.40

- 少人数指導等のための非常勤講師や支援員の配置による人的サポート等を通して、学力の向上に向けたきめ細かな指導が展開できる体制を確立することにより、児童生徒の「基礎的知識・技能」の習得や「活用する力」の育成、「主体的な学習態度」の形成を図ります。
- 「小中連携の強化」や「小学校高学年教科担任制事業」等といった「学びの連携」の一環で、中1ギャップの解消にも努めていきます。

- (1) 小中連携推進事業（学びの連携の推進）
- (2) 幼保小連携事業
- (3) 算数・数学における学習支援事業
- (4) 小学校高学年教科担任制事業
- (5) 中1数学少人数学習推進事業



## D 学習環境等の充実

p.41~p.44

- 学習の成立のため、一人ひとりの子どもが落ち着いて授業に参加できるよう、学習環境の整備を進めます。
- 幼児期から展開されている学びを学校教育につなげる取組を進めます。
- 社会教育施設と連携した教育課程の検討や学習活動の工夫を進めます。

- (1) 小1のための生活・学習サポーター事業
- (2) 特別支援教育における学習指導・生活指導補助
- (3) 指導困難学級対策
- (4) スクール・サポート・スタッフ配置事業
- (5) 仙台市さわやか相談員配置事業
- (6) 社会教育施設等との連携



## E 家庭や地域との連携・協働

p.45~p.47

- 児童生徒が学ぶことの必要性の認識を高め、学習内容への興味・関心を向上させるために、家庭や地域の学習環境の充実を図ります。また、地域の方との触れ合いにより、自己肯定感・自己有用感を高めていきます。
- コミュニティ・スクールや学校支援地域本部は、「地域とともに歩む学校」推進の柱となるものであり、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の構築につながっています。

- (1) コミュニティ・スクール推進事業
- (2) 学校支援地域本部事業
- (3) 家庭学習推進事業
- (4) 「学習意欲」の科学的  
研究に関するプロジェクト



## F 学力、生活・学習状況の的確な把握

p.48

- 仙台市標準学力検査や生活・学習状況調査を基に各施策の効果検証を行い、児童生徒の実態を把握するとともに、効果的な学力向上策の検討を行います。
- 児童生徒一人ひとりの学習到達度を把握し、有効活用することにより、分かる授業づくりや個に応じたきめ細かな指導等の授業改善につなげ、確かな学力を一人ひとりに保障することを目指しています。

- (1) 標準学力検査の実施
- (2) 生活・学習状況調査の実施
- (3) 全国学力・学習状況調査（補完）

